

Dialog 17 Asking for information (attribution) -情報を求める(属性)

口語訳

Roles: Kei= K, Heinrich= H

At the International School festival.

Heinrich is taking Kei to the school cafeteria.

K: Thank you for showing me the way.

H: No problem. I was thirsty, too.

K: You're a student here, aren't you?

H: Yes.

K: What grade are you in?

H: I'm in the fourth grade. How about you?

K: I'm a fifth grade student.

H: Do you go to a Japanese school?

K: Yes.

H: Ah, your English is good!

インターナショナルスクールの文化祭で。

ハインリックが圭をカフェテリアまで案内しています。

ケ: 行き方を教えてくれてありがとう。

ハ: どういたしまして。 ぼくものどが渴いていたから。

ケ: 君はここの生徒だよ。

ハ: そう。

ケ: 何年生なの?

ハ: 4年生。 君は?

ケ: ぼくは5年生。

ハ: 日本の学校に通っているの。

ケ: そうだよ。

ハ: へえ、英語が上手だね!

Target Expressions

—情報を求める(属性)—



「私は～です。」とまとまった情報を伝えたい時、「I am ～」を使います。～の部分には自分がどんな状態なのかを説明する語を置きます。また、相手の情報を知りたい時、「Are you ~?」「あなたは～ですか?」と尋ねることができます。

I am thirsty.

(僕はのどが渇いているんだ。)

I'm(=am) a fifth grade student.

(僕は5年生だよ。)

Are you a student here?

(君はここの生徒なの?)

I'm(=am) in the fourth grade.

(僕は4年生だよ。)

「あなたは学校へ行きますか?」「あなたは本を読みますか?」のように「あなたは～しますか?」と相手の情報を聞きたい時、「Do you ~?」を使います。～の部分には動作を表す語(行く・読むなど)を置きます。

Do you go to a Japanese school?

(君は日本の学校に通っているの?)



Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

逐語訳

"Thank you for showing me the way." : 「道を示してくれたこと、つまり「行き方を教えてくれたこと」にお礼を述べている。

"No problem." : 「問題ない」「たいしたことではない」「どういたしまして」

"~, aren't you?" : 「～ですね」と相手に同意を求めたり、相手に問いかけて確認する時に使います。よって「この生徒だよな?」となるわけです。

"How about you?" : 相手から聞かれた質問に答えた後で、相手にも同じ内容を尋ねたい時使う表現です。「君についてはどうですか?」つまり「君は何年生ですか?」という意味になります。

インターナショナルスクールの文化祭で。
ハインリックが圭をカフェテリアまで案内する。

ケ: 道を示してくれてありがとうございます。

ハ: 問題ないですよ。僕ものどが乾いていましたから。

ケ: 君はこの生徒です、違いますか?

ハ: はい。

ケ: 何年生ですか?

ハ: 僕は4年生です。君についてはどうですか。

ケ: 僕は5年生です。

ハ: 日本の学校に行っているのですか?

ケ: そうです。

ハ: へえ、君の英語は上手ですね!

学年をいう表現

"I'm in the ~ grade." または "I'm a ~ grade student." という表現で「～年生です」と言うことができます。「何年生ですか?」と尋ねたい時は、"What grade are you in?" と言います。

What grade are you in? (君は何年生なの?)

I'm in the fourth grade.

= **I'm a fourth grade student.**

(4年生だよ。)



Target Expressions

—情報を求める(属性)—